

大阪府貝塚市における哺乳類の生息記録 : 1

西澤 真樹子 (貝塚市立自然遊学館)

はじめに

大阪府貝塚市における哺乳類の生息情報は、今まで農業被害に対する駆除や交通事故の記録、目撃記録などの断片的なものに留まっていた(西澤, 2003)。今年度、貝塚市蕎原箱谷川周辺(調査地名: 箱谷)と、貝塚市名越・千石荘病院跡地周辺(調査地名: 千石荘)において小型哺乳類の生息調査を行ったので、結果を報告する。

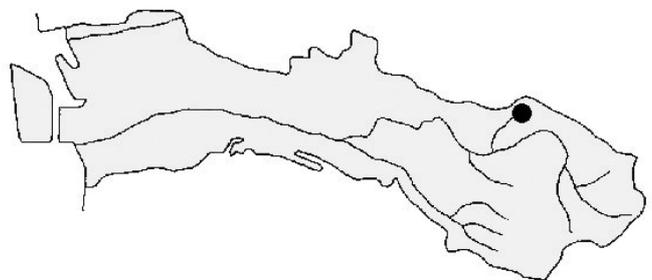
調査区域

以下に、箱谷と千石荘の両調査地の立地、土地利用、植生を記し、景観写真と貝塚市内での位置を、それぞれ図1と図2に示した。

1. 箱谷：和泉葛城山の中腹にあるいわゆる谷戸田で、水田、果樹園、耕作地をスギ・ヒノキの植林地や竹林等が囲み、中心を箱谷川が流れる。果樹園は現在利用されていない。当調査地は、貝塚市内では残り少なくなった里山の環境が残されており、貝塚市の哺乳類相を明らかにする上で重要であると考えた。



(図1-1) 貝塚市蕎原・箱谷周辺の景観

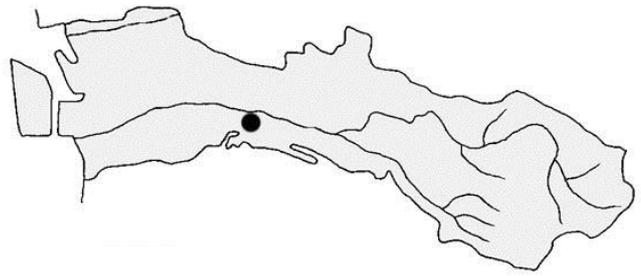


(図 1-2) 貝塚市蕎原・箱谷

2. 千石荘：千石堀城跡を中心とした南北約1kmにおよぶ丘陵地。雑木林を中心とした森が広がる。一部は畑や水田として使われている。大井谷池、牛神池、ボタン池、オサガ池など大小のため池がある。千石荘病院は2003年7月に閉鎖され、現在は更地となっている。周辺にはまとまった面積の自然環境が残されており、開発に晒される前に早急に調査をする必要があることから、今回の調査地とした。



(図2-1) 貝塚市名越・千石荘周辺の景観



(図2-2) 貝塚市名越・千石荘

調査方法

捕獲率を上げるため、ネズミ類の個体数が増加する春および秋の繁殖期の直後、図1に示した地点にシャーマントラップを計30個、図2に示した地点に計20個設置した。春は2004年5月23日から25日、秋は10月23日から25日までとした。シャーマントラップには誘引餌として生ピーナツを各5個入れた。見回りは原則的に早朝と夜間に行い、捕獲された個体はその場で回収した。秋期には寒さで捕獲個体が死亡する可能性があったため、夜間の見回りの回数を増やした。



(図3) シャーマントラップの設置

捕獲された個体は休息させたのち、体重、頭胴長、尾長、後足長、耳長を計測した。尾長は肛門の中心を基点として尾の先端までを計測するヨーロッパ式を用いた。また、外部生殖器官の状態（乳頭の発達、精巣のサイズ）から繁殖状態を記録した。捕獲個体は計測後すぐ放逐したが、一部死亡した個体については標本とし、貝塚市立自然遊学館および大阪市立自然史博物館が所蔵している。各計測値のデータは表1にまとめた。

調査に際しては、大阪府の鳥獣捕獲許可証を取得して行った（捕獲許可番号 第1109-5）。

調査結果

1. アカネズミ *Apodemus speciosus*

捕獲調査で確認された小型哺乳類はすべてアカネズミ（図4）で、計21個体捕獲された。捕獲数は箱谷が13個体、千石荘では8個体であった。また、箱谷ではネズミ類のものと思われる堅果の食痕（図5）が確認された。



(図4) アカネズミ



(図5) 堅果の食痕

表1 2004年度調査で捕獲された小型哺乳類の計測値

種名	採集地	トラップ番号	採集日	性別	体重	頭胴長	尾長	後足長	耳長	計測者	
1	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:林縁部草地	L-11	20040524	♀	25.8g	94	82	22.5	13	西澤真樹子
2	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:林縁部草地	L-1	20040524	♂	43.4g	116	102	25.5	13.5	西澤真樹子
3	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:林縁部草地	L-3	20040524	♂	53.9g	120	99	23	15	恩地実
4	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:休耕田草地	K-3	20040524	♂	39g	108	96	22.5	15.5	恩地実
5	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:休耕田草地	K-17	20040524	♀	33.5g	105	88	23	14.5	恩地実
6	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:休耕田草地	K-18	20040524	♂	33.6g	105	102	25	16	恩地実
7	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:もと果樹園	J-3	20040524	♀	38.2g	112	102	23	15	恩地実
8	アカネズミ	貝塚市名越千石荘:事務所周辺草地	I-3	20040524	♀	50.5g	120	103(尾切れ)	-	-	西澤真樹子
9	アカネズミ	貝塚市名越千石荘:落葉広葉樹林	H-8	20040525	♂	42g	121	46.5(尾切れ)	28	14	西澤真樹子
10	アカネズミ	貝塚市名越千石荘:落葉広葉樹林	H-9	20040525	♀	39g	111	115	23	15.5	西澤真樹子
11	アカネズミ	貝塚市名越千石荘:落葉広葉樹林	H-10	20040525	♀	25g	92	88	22.5	13	西澤真樹子
12	アカネズミ	貝塚市名越千石荘:落葉広葉樹林	I-5	20040525	♀	36g	103	84(尾切れ)	23.5	13	西澤真樹子
13	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:林縁部草地	L-7	20040525	♀	33g	112	91	23.5	15	西澤真樹子
14	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:もと果樹園	J-5	20040525	♂	35g	112	111.5	23	14.5	西澤真樹子
15	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:林縁部草地	L-5	20041024	♀	49g	115	97	22.5	14	西澤真樹子
16	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:林縁部草地	L-1	20041024	♀	52g	118	51(尾切れ)	22	12.5	西澤真樹子
17	アカネズミ	貝塚市名越千石荘:落葉広葉樹林	H-8	20041024	♂	55g	118	103	23	17	西澤真樹子
18	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:林縁部草地	L-11	20041024	♂	50g	120	110	22.5	16	西澤真樹子
19	アカネズミ	貝塚市名越千石荘:事務所周辺草地	I-10	20041024	♀	44g	108	106	23.5	15	西澤真樹子
20	アカネズミ	貝塚市蕎原箱谷:林縁部草地	L-2	20041025	♂	59g	121	106	24	14	西澤真樹子
21	アカネズミ	貝塚市名越千石荘:落葉広葉樹林	H-7	20041025	♀	52g	116	108	24	13.5	西澤真樹子

※単位はmm
 ※尾長は毛含まず
 ※後足長は爪含まず

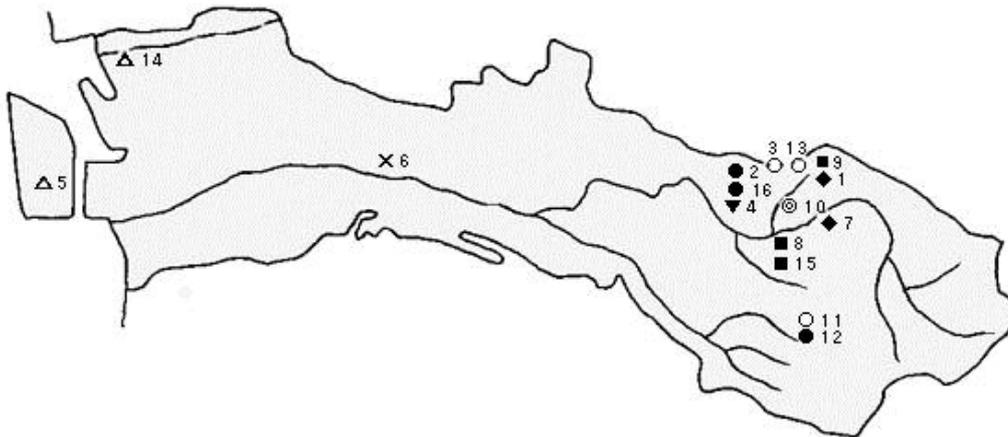
2. その他の記録

捕獲調査の際、または自然遊学館での行事とその下見の際に、調査地を踏査して哺乳類の痕跡（ふん、足跡、巣穴、死体など）を観察し、記録した。調査日は2004年2月9日、2月16日、2月21日、4月8日、5月23日、8月2日、10月24日である。また、自然遊学館に標本として寄贈されたものをあわせ、2004年に確認された哺乳類として表2に、それぞれの確認地点は図6にまとめた。

表2 2004年度に確認された哺乳類の記録

No.	種名	確認場所	状態	確認年月日	備考
1	イノシシ	貝塚市蕎原箱谷:休耕田	ぬた場	20040209	写真あり
2	ノウサギ	貝塚市蕎原箱谷:休耕田	ふん、食べあと	20040209	写真あり
3	コウベモグラ	貝塚市蕎原箱谷:休耕田	モグラ塚	20040216	多数 写真あり
4	テン	貝塚市蕎原箱谷:休耕田	ふん	20040216	カキの種 写真あり 自然遊学館で展示
5	アブラコウモリ	貝塚市二色	死体採集	20040218	液浸標本
6	アライグマ	貝塚市名越千石荘:ポタン池	足跡	20040221	ドブガイの多い池周辺、多数ついていた
7	イノシシ	貝塚市蕎原:梅園	ふん	20040408	採集 自然遊学館で展示
8	タヌキ	貝塚市蕎原:ほの字の里	ためふん	20040408	カキ、イチゴの種子
9	タヌキ	貝塚市蕎原箱谷	姿	20040523	写真あり
10	ネズミ類	貝塚市蕎原箱谷	食痕	20040523	写真あり
11	ノウサギ	貝塚市大川	死体採集	20040604	仮剥製、自然遊学館で展示
12	コウベモグラ	貝塚市大川	死体採集	200408??	自然遊学館で冷凍
13	コウベモグラ	貝塚市蕎原箱谷:休耕田	モグラ塚	20040802	多数
14	アブラコウモリ	貝塚市津田南町	死体採集	20040918	液浸標本
15	タヌキ	貝塚市蕎原:ほの字の里	姿	20041024	哺乳類調査時
16	ノウサギ	貝塚市蕎原箱谷	姿	20041024	哺乳類調査時

※標本は自然遊学館蔵



(図6) 2004年度における哺乳類の確認場所
各地点の番号は表2に対応したものである。

おわりに

今年度調査では、林でしばしば見られるヒメネズミやニホンリス、耕作地・草地に生息するハタネズミ、カヤネズミが確認できなかった。ハタネズミ、カヤネズミ、ヒメネズミは泉南地域での記録があり（『大阪府野生生物目録』、大阪府）、『大阪府レッドデータブック』で準絶滅危惧種とされているスミスネズミも泉南の山地での記録があるため、貝塚市内でも生息している可能性がある。家屋を利用するアブラコウモリ以外のコウモリ類や、和泉葛城山でしばしば確認されているニホンジカやキツネなど中型以上の哺乳類についても確認できていない。今後は調査方法や回数、標高や調査環境などを考慮し、継続した調査をする必要がある。

謝辞

調査に際し、大阪市役所健康福祉局総務部運営企画課管財担当の方々、齋原町内会の方々にお世話になりました。特に文野春美氏、多田理氏（風工房）には調査へのご理解をいただくとともに便宜をはかっていただきました。捕獲調査に関しては、甲南高等学校理科教諭の恩地実先生にお力をお借りするとともに、調査地の選定に対しアドバイスをいただきました。森本静子氏、高野朝子氏（自然遊学館わくわくクラブ）、松浦宜弘氏（近畿大学農学部水産学科）、中井穂瑞嶺氏（近畿大学農学部農学科）、米澤里美氏（甲南高等学校）には、調査と計測を手伝っていただきました。自然遊学館に標本や目撃情報を寄せてくださった山口進氏、山口フミ子氏、井入悠介氏、湯浅幸子氏、その他、本調査にご協力いただきました多くの方々に感謝します。

参考文献

- 阿部 永、石井信夫、金子之史、前田喜四雄、三浦慎悟、米田政明（1994）『日本の哺乳類』、
（阿部 永監修、財団法人自然環境研究センター編集）、東海大学出版会、195pp.
- 大阪府（2000）『大阪府野生生物目録』. 351pp.
- 大阪府（2000）『大阪府における保護上重要な野生生物－大阪府レッドデータブック－』. 442pp.
- 上久保文貴・白木江都子・湯浅幸子（2003）貝塚市内のため池の植物Ⅱ. 貝塚の自然 第5号：
1－30.
- 西澤真樹子（2003）貝塚市の両生類・爬虫類・哺乳類. 貝塚の自然－貝塚市立自然遊学館創館10周年記念号－：196－215.